

# NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第87号(201610)

発行 竹田 幸男



## 映像寝屋川との連携作業

前号で、今年は大阪アマチュア映像祭に3名(うち2名同好会)の出品が確定したことをお伝えしました。そのプログラムが出来上がったので、谷さんに受け取りに行って頂きました。プログラムは、会員に配布するほかに、今まで作品展に来てくれた人への送付分も含まれていて、58通のプログラム発送分担依頼がありました。

これを9月25日の映像寝屋川の例会へ持って行き、例会が終わった後、その場に居た会員に協力してもらって封筒への宛名の貼り付け、切手の貼り付け、プログラムの同封の作業を皆さんで分担して頂き、短時間に仕上げる事が出来ました。

## 例会の窓

平成28年9月例会

日時：9月14日(水)13:30

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：天野 新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田  
谷 田淵

欠席者：なし(50音順・敬称略)

### 例会次第

1. 報告・連絡事項

(1) 会報随想 天野さん

2. 協議事項

(1) 本年度第2回撮影会について

- ・一案 高槻で温泉と食事を含み(合計1,800から)撮影会  
11月14日(予備日16日)(同好会案)
- (2) 本年の大阪アマチュア映像祭作品(10月30日)
  - ・大口富美子 国宝姫路城(映像寝屋川)
  - ・小笠原邦雄 初冬の詩
  - ・竹田幸男 友好の架け橋 エルトゥールル号の悲劇  
8/19 プログラム編成会議でプログラム決定した。  
全19作、小笠原作品は前半5作目、大口作品は前半8作目、竹田作品は後半8作目
- (3) 今年の市民文化祭出品作品は9月例会で締め切る。  
未完成の方は竹田まで持参または郵送。
- (4) 3月のビデオ作品発表会の計画
  - ・9/11 会場申し込み
  - ・1/22 プログラム原稿決定
  - ・3/11 実施
  - ・1/11 出品作品決定
  - ・2/8 プログラム配布
  - ・会場がいつものAVルームが取れないのでサークル活動室となった。
  - ・テレビは借りるが、音響が不足、アンプとスピーカを田淵さんが持参する。
- 3. 映写・研究発表
  - (1) 谷さん 「寝屋川竹炭づくり活動展」 15分
    - ・作品と言うより竹炭づくりの会への贈呈品。
  - (2) 谷さん 「憧れの蔵王！」 5分
    - ・前回の内容を修正され、まとまってきた。
  - (3) 新井さん 「南 保次さんの挑戦」 9分
    - ・前回の課題を修正された改良品
  - (4) 竹田さん 「第4回寝屋川市文化連盟展」(竹田さん・新井さん・河尻さん  
撮影)1時間20分 3カメ撮影、長時間のため参考として部分映写した。
  - (5) 妹尾さん 「青森ねぶた祭り」 10分
    - ・まつりの雰囲気が良く出ています。キャプションが読み切れない部分があるので、内容を整理されては。
  - (5) 小笠原さん 「高瀬川探訪・床料理・日本庭園を楽しむ」
    - ・全体の流れをもう少し整理されては。ナレーションが最初の方に集中しているので、分散して後の方にも配置すればもっと良くなると思います。
- 4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等
- 5. 来月の例会 10/12(水)13:30 市民会館 4F

# 私の小さな社会貢献活動(ボランティア)

天野 忠一

人に自慢できる社会貢献ではありませんが、私は月1回のボランティア活動に参加しています。それも世話役という立場での参加です。

2012年9月発行の会報40号(園芸0B会と私の役割)で活動を紹介させていただいた仲間たちと、2013年4月(平成25年)から枚方市の「公園・緑地等のアダプトプログラム(\*1)」へ参加登録をおこない活動を続けています。



アダプトサイン

参加してみたいと思ったきっかけは、第二の人生を迎えてかなりの年月は経過したものの、個人のためには、色々な手段で楽しみを享受してきましたが、それにひきかえ社会に貢献するような事を何かおこなってきたかと考えた時、残念ながら私にはそれがありませんでした。

今ある私を、このままの延長線上で続けていいのだろうか。残りの人生で何か社会にお役立ちをする必要があるのではないだろうか、当時もやもやとしたものを持ち続けていました。

すでに見える仲間たち(松愛会活動・サークル園芸21活動)には、十分とは言えないまでもそれなりにお役立ちは果たしていると思っているところですが、不特定多数の見えない人々(社会)にも喜んでいただける事をするということは大切ではないか。もしそのような機会が身近にあるならば是非参加したいと思う気持ちが、大変強くなっていた時でもありました。

そのような時、タイミング良く知人の市職員から「公園の花壇管理をしないか」との話をいただきました。

このテーマなら、仲間たちと学んできた事も生かせることもでき、社会貢献ができる場所ではと判断をして、早速皆さんに提案をしますと、「是非参加したい」という事となって今日に至っているところです。

場所は、国道1号線出屋敷南交差点西側300mにある交北公園です。この公園は枚方市管理の公園で面積は約3ヘクタールあり、枚方市内にある公園の中では8番目に大きな公園です。しかもビオトープ(\*2)と防災機能を兼ねた公園となっています。

実施している具体的な作業は?とといいますと、公園内にある18花壇の美化維持管理をしています。

- ① 年3回(今年度より)の花の植付け
- ② 花壇の除草と水やり (毎月1回)
- ③ 花苗植え付け前の土壌づくり



6月~12月 ペンタス



12月~3月 ハボタン



12月~6月 ビオラ



ビオトープ

今では花壇も整備されていますが、枚方市から預かった当時の花壇は、草は生え放題、土も固くて果たしてこのような土壌で花が育ってくれるのかと心配していましたが、全員が汗を流した花壇づくりの結果、見違えるほど素晴らしい花壇となり、花は毎年大きく立派に咲いてくれています。



枚方市から預かった当初の花壇



花壇作りのための資材搬入



春の花壇の除草



夏の花壇 ペンタス花植え準備



ペンタス花植え 完了



除草と水やり

参加メンバーは、当初のメンバー15名と、昨年4月から松愛会枚方北支部のメンバー5名が参加し(男性8 女性12 計20名) 合同で活動をしています。作業日・内容によって参加人数は多少変化しますが、毎回12名前後の参加で10:00~12:00の2時間程度の作業をしています。



春の花壇



夏の花壇

極めて小規模の社会貢献活動(ボランティア)ではありますが、公園の花壇を美しく維持管理をするという社会へのお役立ちの満足感と、学んできた園芸の知識を実践する場をここに得て、みんなでわいわい言いながらの朝の活動は、極めて意義ある充実した2時間となっています。

公園を訪れる人々の憩いの場として、「きれいに花が咲いているね」「花壇をバックに写真を1枚!」と言ってもらえることを夢みながら、今月も爽やかな汗を流したいと思っています。

**元気であれば、いつまでも続けたい活動のひとつです。**

\*1 市民と行政が、協働で進める清掃活動をベースとした まち美化プログラム

\*2 生物群集が存在できるように整備された生息空間

キャプションとは、映像に重ねて、映像の内容、登場者の氏名、地名、場所の説明、などを文字で説明するもので、広い意味では「タイトル」と呼ばれることもあります。

キャプションについては、文字の字体、大きさ、文字の色、文字の飾り、文字の位置、映写する時間、記載する内容、見やすさ、挿入するタイミング、など様々な点を考慮する必要があります。

### 【字体】

読みやすい字体である事が大切です。よく使われるのがゴシック体、楷書体、丸ゴシック体、明朝体など。明朝体はよく使われますが、字画の縦線に対して横線が細いのでやや見にくい場合があります。明朝体は字体を選んで、少し太めの字体が良いようです。

昔の映画によく使われたような癖のあるしゃれた字体なども、作品の内容によっては面白いでしょう。

勘亭流書体などは癖がありすぎるので映像内容に合うのか、よく考えて使う必要があります。

### 【文字の大きさ】

小さすぎると読みにくく、大きすぎると格好悪いので、映写された場合に画面に対してどれぐらいの大きさになるか、やってみて決めるのが良いでしょう。

### 【文字の色・飾り】

文字の色は、赤とか橙色など余り派手な色を避け、白は無難ですが、明るい背景では見にくいこともあるので、濃い色の、陰とか縁取りを入れて字を読みやすくするのが良いでしょう。文字飾りも余り派手で無く見やすさを第一に考えたいと思います。

### 【位置】

キャプションを出す位置は画面中央下がもっとも一般的です。画面の四周はテレビなどによっては映写されない部分ができる場合があります、あまり上下左右の端まで使うことは避けましょう。一連の映像をひとまとめにするためには右上や右下など四隅のどこかに置く場合もあります。インパクトを与えるために中央にどーんと出すこともあります。

また、右から左などに文字を流す場合もありますが、流れる、というのはだいたい文字数が多い場合であり、文字が流れている間は映像の方に注意が向かないので、出来るだけ避けたい方法です。

### 【時間】

キャプションの継続する時間は、文字の内容を余裕を持って読める時間が必要です。また、読んでいる間は文字読み取りに集中しますから、同時に出てくる映像の

方へは意識を集中が出来ない、ということをよく考える必要があります。だから、キャプションの文字数は必要最低限の長さにする必要があります。

ナレーションがある場合、ナレーションと同じ内容のキャプションを延々と流される場合がありますが、これは無駄・無益なことです。映像への集中を妨げます。ナレーションの中に出てくる必要最小限度の「人名」「地名」「施設の名称」「物品の名称」「数値」などに絞るべきでしょう。

同じようなケースですが、たとえばインタビューを受けている人の発する言葉を、そのままキャプションにしている場合がありますが、このような場合は発言自体を見る人にしっかり認識してもらうことが大事なので、ナレーションの場合のように排除すべきではないと思います。

#### 【記載する内容】

ナレーションがなく、キャプションだけで説明する場合、あれも、これも書きたいのは山々でしょうが、内容をよく読み返して、見る人に訴えたい最小限度の文字数に絞ることが、本当に理解して頂きたいことを伝えるための最善の選択であることを忘れないようにしたいものです。

#### 【挿入するタイミング】

人名の場合を考えましょう。よく入れるのは挨拶などで登壇する人の名前を入れることがあります。どういうタイミングで入れますか。挨拶する人が演壇に立ったとき、視聴者は、まずその人の顔を見ます。「これは誰か」と解った後で入れるべきです。たとえば、顔が確認出来てから1秒ぐらい経ってから「\*\*会会長 \*\* \*\*さん」などと入れます。氏名の場合、長さは5～6秒ぐらいでしょう。

このように見る人は、出てきた映像が何か、ということを見ますから、最初から文字を出しても、最初は文字を読まず、結局、文字の認知が不十分になると考えます。

同様に、物の説明の場合でも物が出現してから、視聴者が、そのものを認知するまでの時間、キャプションの挿入を待ってあげる必要があります。



**お願い**この会報をお読み頂いている方も多いと思います。今は読んで頂くだけの一方通行ですが、ご意見、ご感想などお寄せ頂ければ有難く思います。

メールアドレスm-pic@outlook.jp（竹田）まで、ご連絡をお待ちしています。

## 寝屋川映像同好会 会員募集

当会では会員を募集しています。松愛会会員とそのご家族であれば、所属支部に関係なく入会して頂けます。

### 【活動内容】

■例会：日時：毎月第2水曜日 13：30～16：30

会場：寝屋川市民会館4階・市民活動センター

（寝屋川市秦町41-1 無料駐車場あり）

活動内容：各人の作品の映写と検討、映像制作上の質疑応答、活動の打ち合わせ等

撮影会：年2回程度

公開作品発表の機会：毎年11月・寝屋川市民文化祭・映像作品発表会

毎年10月頃 大阪アマチュア映像祭

2年に1回 映像同好会ビデオ作品発表会

2年に1回 寝屋川映像フェスティバル

懇親会：1月の例会前 新年食事会

12月 忘年会

その他随時研究会や講習会・レクリエーションなど開催

会費：入会金 3,000円 年会費3,000円

連絡先:メールアドレス [m-pic@outlook.jp](mailto:m-pic@outlook.jp) (竹田)